

第 40 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	杉村ゼミ II
チーム名	We can fly
タイトル	三空港問題から見た関西
テーマ群	c)公共経済
メンバー	◎眞鍋太佑・荒川光・伊藤真弘・葛島彩人・熊谷俊哉 武原佑実・辻翔介・西山裕絵・畠中麻里・宮崎仁志
研究計画内容	<p>今回、伊丹空港(大阪国際空港)・関西国際空港・神戸空港の三空港問題について私たちは焦点を当てます。</p> <p>航空業界全体では近年、JAL 問題・羽田空港のハブ化・赤字路線など様々な難題に直面しています。関西に目を向けても、この三空港のあり方という大きな問題があります。多くの皆さんはニュースで[一元管理・伊丹廃港・LCC(格安航空会社)・兵庫県の井戸知事と大阪府の橋下知事との対立等]このような言葉を聞いたことがあると思います。しかし、なぜ議論されているのか把握していない人も少なくなく、実際議論もなかなか進まず、抜本的な解決も見当たりません。</p> <p>この伊丹空港(大阪国際空港)・関西国際空港・神戸空港の三空港の問題は、各住民や兵庫県・大阪府、さらには国でも多くの議論が行われていますが、伊丹空港の黒字や利便性の高さに関西国際空港のアクセスの悪さやハブ化構想など、各府県・地元住民の思いも異なるのが事実です。国としては、昨年 11 月に行われた行政刷新会議で関空会社の財務問題を巡り「伊丹空港との関係を含めた抜本的解決」を求められ、それに応えた形で 2010 年 4 月下旬の国土交通省の成長戦略会議では伊丹空港と関西国際空港との一元管理に向けた提言がなされました。そして、2011 年 1 月の通常国会にはそれについての法案を提出しようとしています。</p> <p>そこで、私たちはこの三空港の現状を改めて研究し、国際的に同様の事例を観察し、それぞれの立場の人の意見を考えることで、今後関西全体を活性化しようとするためには空港はどうあるべきなのか、どういうことをすれば効用が高まるのか、を考えていきたいと思います。</p>